

Uswap



スマートコントラクト
自動流動性供給の分散型プロトコル

目次

概要	1
----	---

第一章

基礎技術の背景

紹介	2
CEXの失敗	3
DeFiの紹介	5
スマートコントラクト	7
分散型取引所	9
AMMとは	13
流動性プールとは	14

第二章

プロジェクト

Quatroネットワークの概要	15
産業の概要	17
問題	18
Uswap（プロジェクト概要）	20
Uswapプロジェクト機能	21

Uswap CCP (クロスチェーンプロトコル) 25

トークンについて 26

Tube1 トークンエコノミー 28

市場戦略 29

結論 31

Uswapホワイトペーパーは、Uswapプロジェクトの機能、指示、および特徴を説明する文書として使用されます。ホワイトペーパーには、Uswapチームの目標、ビジョン、ミッション、プロジェクトの初心、および引き続きの発展に関する計画が含まれています。

このホワイトペーパーでは、ブロックチェーンテクノロジーに影響を与えた複雑な問題、その制限、およびQuatroネットワークプロトコルの創設による一時的な解決策について説明します。また、このホワイトペーパーでは、QuatroネットワークとUswapがブロックチェーン業界全体の成長と発展にとって不可欠な必要性について説明します。

このドキュメントは、Uswapプロジェクトチーム、諮問委員会、および親プラットフォームチームと協力したUswapプロジェクトパートナーによって作成されます。CEXによって引き起こされた問題を解決するだけでなく、DEXが直面している苦境を積極的に解決し、対策を取り組んでいます。このドキュメントは、すべての知識レベル（初心者からエキスパート）のユーザーに適用されます。

最後に、プロジェクトの概要に入る前、ユーザーがプロジェクトの概念をある程度に理解できるよう、まず、Uswapプロジェクトの構築が基いた複数のテクノロジーについて説明します。

このホワイトペーパーの第1章では、Uswapプロジェクトを推進する技術概念の内訳が含まれ、第二章ではUswapプロジェクトの詳細を説明します。

紹介

コンピューター通信は、コンピューター学者、プログラマー、エンジニアが革新を行い続けてきた奇跡です。人間は常に、変わりのない、議論の余地のない、極めて安全な方法でコミュニケーションを作り出すため、新しい方法を開拓しています。これにより、現在、インターネットというコンピューター通信方法が開発されました。通信のセキュリティを探索することにより、人々は暗号を概念化し、結果としてブロックチェーンの実現ができました。

ブロックチェーンテクノロジーは、1982年に暗号研究者David Chaumの論文「相互に疑わしいグループによって確立、維持、信頼されているコンピュータシステム」により、最初に提案され、導入されました。しかし、この概念は、2008年に中本聡と名乗る未知の実体によって脚光を浴びました。彼は、法定通貨の制限を超えるユニバーサル通貨を作成しようとしていました。同じ発明の中で、ブロックチェーン技術は、ビットコイン（暗号通貨）という通貨の基礎技術として実際に使用され、正式に開発されました。

現在、Blockchainテクノロジーは多くの業界や生活の各方面に採用されています。世界中のユーザーにコントロールの権利を提供しています。この技術は仲介者や中央集権側の介入を排除することにより、結局世界中の人々から高い関心が寄せられるはずです（権力は最終的に、人々に返されます）。

爆発的なイノベーションはいつも人間にとって魅力的です。その結果、多種の暗号通貨が急速で暗号分野に導入されました。この中のある通貨は、自分が作成した資産をある程度にコントロールしたく、知らないうちに「非分散化」のコンセプトに移ってしまいました。今日、ほとんどの“分散化概念に従う”と主張する暗号通貨は、実際にこのコンセプトを汚しています。

さらに、集権型の暗号取引所（CEX）も競争の場に入り、再び人々から資産管理の権利を奪いました。CEXは、ユーザーから非選択的なKYC（Know Your Customer）情報が要件なので、ユーザーの匿名性には疑問が残ります。しかし、CEXは暗号通貨の宣伝と基本技術において重要な役割を果たしてきたので、暗号分野への貢献としては認められべきです。

DeFiとDEXがユーザーに認識された以来、絶えずにユーザーの注目を集めてきました。これにより、ユーザーは中央機関が自分の資産を勝手にコントロールできる状況よりも、自身の資産に権利を保ちたいとのがわかりません。

CEXの失敗

CEXが暗号圏への貢献は強調しすぎかねます。CEXは今に至って取引所の中で最も人口が多く、最も目立つ存在ですが、いくつかの注意しなければならない欠点がこの章に記載されます。

中央集権

ブロックチェーンテクノロジーの最大特点是、取引中に仲介者や集中化の傾向がないことです。現在、集中型取引所は明らかに、ユーザー資産を決定する権利を持っており、権力側が資産をコントロールしています。集中型取引所が提供するウォレットサービスも、同様な集中化傾向が見えます。つまり、提供されたウォレットは、ほとんどのユーザーが思っているようにプライベート的ではありません。

匿名性の失敗

トランザクションハッシュはウォレット所有者の身元を開示できないにも関わらず、集中型取引所の中央局はウォレットを作成した個人を追跡できます。また、これらの取引所は、ユーザーの個人情報公開しないことを約束しますが、ウォレットが作成したトランザクションIDとハッシュを追跡することは妨げていません。集中型取引所のは明らかに、ユーザーに匿名性を提供することに失敗しています。

安全性

集中型取引所の大規模なユーザーベースと流動性の可用性により、常にハッカーやサイバー犯罪者の目標になります。資金がハッキングされた時に急速に凍結されない場合、ユーザーは資金を失う可能性があります。さらに、取引所が倒閉を決定する可能性もあります。このような状況は暗号圏に希少ではない。2017年頃、暗号取引所の閉鎖がかなり頻繁に発生していました。ただし、この傾向は現在においてすでに終わりました。

DeFi 紹介

グローバル金融システムは管理や規制されています。銀行から政府に至り、既存の金融構造が人々の信頼が得られなくなる主な理由は、集権管理です。政府は紙幣を印刷することで赤字予算に対応し、課税を通じてインフレを抑制しようとしています。基本的に、政府は人々の資産を浪費しています。このシステムの壊滅的な障害は実際に差し迫っています。

DeFi (Decentralized Finance) は、分散化の概念を金融システムのあらゆる側面に適用するように提案された方法です。これには資産管理、保険、クレジットライン、貯蓄などが含まれます。DeFiは、インフレの問題も含め、現在の金融システムによって引き起こされた問題を解決します。

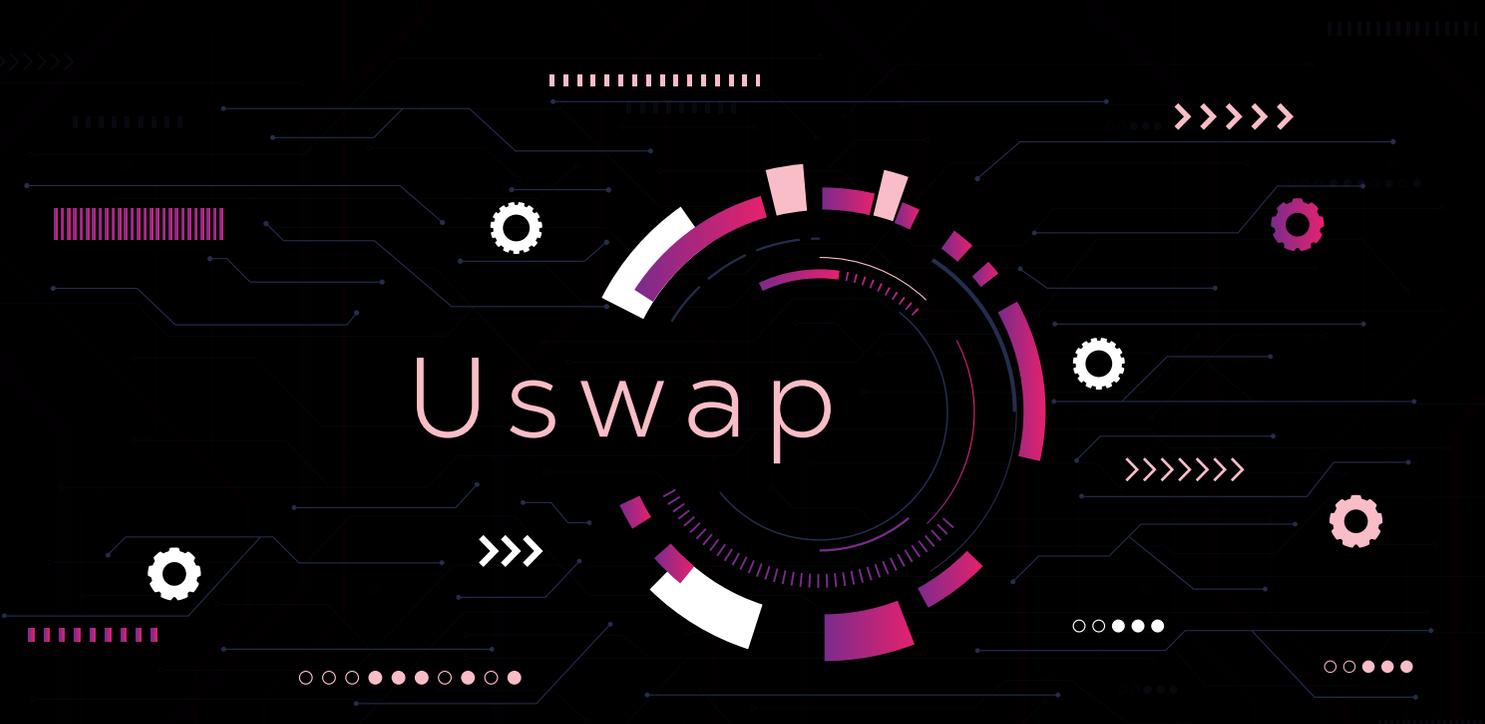
DeFiプラットフォームの中で、ETHは多くの注目を浴びており、最も人気のあるプラットフォームです。しかし、ETHは一般的な財務問題に対する分散型対策を実装する最初のプラットフォームではありません。ステーブルコインに基づいて構築された貸付プラットフォームMakerDAOは、目標を達成するために最初の分散機能を使用したプラットフォームであると主張しています。それはBTCが発売される直前、2015年頃に設立されたプラットフォームです。

それ以来、ETHプラットフォームは、DeFiプロジェクトの舞台となり、集中型のコントロールを永久に変更しました。2020年10月のまで、さまざまな分散型金融プロトコルに保存されている暗号通貨の価値は110億米ドルを超えました。2020年だけで、10倍以上の業界成長を示していました。2021年1月まで、約205億ドルがDeFiに投資されました。この数字は、DeFiテクノロジーの採用が増え続けるにつれ、日々上昇している現状です。

DeFiは、一般ユーザーでも金融ツールにアクセスできるようなサービスを提供しており、従来の中央金融仲介業者（ブローカー、取引所、銀行など）には全く依存していません。

DeFiの原始段階に基づき、買い手と売り手、貸し手と借り手は、閉鎖された安全なピアツーピアネットワークで会い、ネットワーク内の安全なスマートコントラクトを通じて取引が実行できます。DeFiプラットフォームは、ソフトウェアの形で準仲介者として機能します。それは現在利用可能な方法よりも実行が安価で、リスクが低く、信頼性が高いです。

ETHは現在DeFiブロックチェーンで最も人気のあるプラットフォームですが、多くのプロジェクトが他の代替プラットフォームに移行している傾向が見えます。その中に、Binance Smart Chain Network (BSC) が最も人気があります。BSCはあくまでも ETHネットワークのクローンにすぎませんが、マイニングコストと使用コストの観点から、比較的安価ですので、多くのプロジェクトはBSCネットワーク上でプロジェクトを作成しています。それにもかかわらず、ETH2.0により、この現象が変わるかもしれません。



Uswap

スマートコントラクト

スマートコントラクトは、指定されたパラメーターを使用して、トランザクションを行う2つの当事者によって開始できるコードのセットです。スマートコントラクトは、トランザクションの実行に関する信頼とセキュリティの問題を排除し、2つの当事者間の仲介役として機能します。

たとえば、XさんはUSDTで自分のビットコインを販売したいです。YさんはUSDTを持っており、Xさんのビットコインを購入したいです。スマートコントラクトは、ユーザーの代わりに資産の自動転送を実行します。

以下は、スマートコントラクトの主ないくつの利点の概要となります。

安全性

従来の弁護士を通じて契約書を作成するシステムとは異なり、スマートコントラクトは絶対に安全です。あらゆる形態の損失から両端のユーザーを保護できます。たとえば、スマートコントラクトは次のようにプログラムされています。トランザクションが失敗した場合、関わる資産とトランザクションのコストは両方のユーザーにそれぞれ払い戻されます。これは、BSCネットワークで特に顕著です。

自治権

スマートコントラクトは自給自足です。一度締結されると、関わる当事者は外部の権利に拘束されることなく、合意された条件のみ拘束されます。この機能により、片方の当事者の操縦ができず、契約のセキュリティも向上されます。

コスト効率

スマートコントラクトが実行するサービスは、一般的なシステムなら弁護士によって実行されなければなりません。弁護士は、当事者に契約書と文書を準備する責任があります。このプロセスはかなり時間と費用がかかります。スマートコントラクトはこのような操作を自動的に実行し、似たようなトランザクションは一時間内何千件も操作できます。

自動化

スマートコントラクトが実行されると、プロセスは自動化され、どちらの当事者もトランザクションの途中で撤退することはできません。

特定の要因によりトランザクションが失敗した場合、スマートコントラクトは、ほとんどの場合、当該当事者への払い戻しを自動的に開始するようにプログラムされます。

速度

スマートコントラクトを使用すると、いくつかのチェックプロセスを必要とし、トランザクションの実行が迅速化されます。スマートコントラクトは数秒で実行されます。トランザクションの完了がわずかに遅れる可能性があります。これは主に他の要因により起こります。例えば、プラットフォームネットワークの速度、流動性の可用性、設定されたスリップページなどがありますが、スマートコントラクト自体の実行は最大2秒もかかりません。

スマートコントラクト運用原則の概要

- 二者間で契約が作成されます
- 両当事者は匿名のままです
- 契約は公開元帳に保存されます
- いくつかのトリガーイベントが設定されます
- スマートコントラクトは、記述されたコードに従って自動的に実行されます

分散型取引所

分散型取引所は暗号通貨の未来です。分散化の原則に従い、中央権利は絶対的に規定されていません。DEXはオープンソースコードで作成されており、誰でも調査、監査、観察を行うことができます。ほとんどの場合、DEXの開発者は、プラットフォームが最高の機能を実行することを保証するために、AMM、流動性プール、ファームなどを含むプロトコルを設定し、継続的な介入の必要がほとんどまたはまったくないようにしています。

分散型取引所の作成は非常に複雑です。プラットフォームを立ち上げる前に、ほとんどの戦略作業を完了する必要があります。プラットフォームが常に開発者から介入される場合、分散化の特徴は失われ、そして信頼性も低くなります。

DEXは暗号空間内、ユーザー間の取引を促進するという目的を果たしています。CEXとは異なり、分散型取引所は暗号資産を保存せず、AMMと流動性プールで構成されたピアツーピアネットワークとして機能し、トークンをほぼ即時に交換できるように実現させます。

分散型取引所で全ての取引は、スマートコントラクトコールを通じて実行されます。スマートコールはプラットフォームがサポートするウォレットを介してプラットフォーム上で直接に行われます。ウォレットにはユーザーの暗号資産が保存され、ユーザーはアカウントを作成したり、KYCの手順を実行したりすることなく、プラットフォームですぐに取引を開始でき、絶対的な匿名性原則が保証されます。

DEXの機能

信頼側に依存しない流動性スワップ

DEXプラットフォームには多種のトークンがリストされます。これらのトークンには、AMMを強化させる流動性ペアとプールがあります。プールから、ユーザーは信頼側のないプラットフォームで自分のトークンを任意のトークンと交換できます。ただし、これらのトークンはそれぞれの基礎ブロックチェーンに制限されています...

たとえば、Uniswapにリストされているほとんどのトークンは、同じトークンのBepバリエーションがない限り、Pancakeswapでは見つかりません。しかし、USwapの使用を基き、その間のブリッジが作成されます。

規制されない

分散型取引所では、アカウントを作成する必要がありません。つまり、すべての取引と交換は預金を入れることはありません。プラットフォームはユーザーのトークンを保管しません。取引を実行するたびにユーザーのウォレットから不足の部分を読み取り、取引が実行されます。

流動性プール/ファーム

DEXの個人でも流動性プールに参加できることにより、誰でも低リスクで投資を開始できます。ユーザーは分散型取引所に流動性を提供することで、プラットフォームで実行されたすべての取引の手数料から特定した割合が獲得できます。

価格の作成

DEXは、複雑なアルゴリズムを使用して、トークンの当前コスト/価格を計算します。これについて、Uniswapホワイトペーパーでも明確に述べられています。アルゴリズムの計算は、親プラットフォームに固有の一連のフ

DEXがCEXより優れている理由

安全性

保存された流動性が低いため、DEXはCEXよりもサイバー攻撃を受ける可能性が低いです。これは、ほとんどの流動性がスマートコントラクト契約を通じてユーザー間で直接転送中のためです。

匿名性

DEXでは基本的にユーザー登録やKYC検証が要求されずに作成されます。ユーザーは個人データを公開せず自分に保有することができます。

資産に対するコントロール

ユーザーの暗号化された資産は、自分が管理するパーソナルウォレットに保存されます。CEXの要件とは異なり、ユーザーは中央ウォレットシステムに暗号通貨を預ける必要がありません。

AMMとは

自動マーケットメーカー（AMM）は、アルゴリズムによる数学的な計算を通じてトークンの価格を決定する分散型取引プロトコルです。このプロトコルは、流動性プールの流動性を活用して機能を果たします。誰でも流動性プールを通じて分散型取引所に流動性を提供し、マーケットメーカーになることができます。

AMMは、CEXの取引委託元帳と比較できます。CEXでは、価格は取引委託元帳の売買委託によって決定されます。これらの売買委託は、関わる資産の当前価格と価格傾向を決定します。ただし、DEX取引所は、取引委託元帳を使用しておらず、流動性がある限り、AMMプロトコルを通じて取引/交換を実現することができます。

ピアツーピアネットワークとは、ユーザーが自分のウォレットを介してプラットフォーム上でコミュニケーションできることを意味します。AMMは、ピアツーピアネットワークとも呼ばれます。ただし、ユーザーがAMMで取引を開始する際に、対象ユーザーはいません。その代わりに流動性プールを介して該当のスマートコントラクトが起動されます。

市場で最も人気のあるAMMの1つは、Uniswapプロトコルです。Uniswapは $x * y = k$ が使用されます。ここで、 x は流動性プール内の一方のトークンの量であり、 y はもう一方のトークンの量です。この式では、 k は固定定数です。つまり、プールの総流動性は常に同じでなければなりません。他のAMMは、対象とする特定のユースケースに対して他の式を使用します。ただし、これらすべての類似点は、価格をアルゴリズムで決定することです。

流動性プールとは

流動性プールは、分散型取引所の原動力と呼ばれています。流動性プールは、業者が取引できる巨額の資金です。それは流動性供給者（利益のために資金を提供する通常のユーザー）によって資金が提供されます。

流動性はペアでプールに提供されます。（例：Tube1 / ETHペア）流動性供給者は、1：1または50：50の比率で流動性を提供する必要があります。ユーザーが5,000ドルに相当するTube1トークンを提供する場合、ペアを完了するには5,000ドルに相当するETHトークンを提供する必要があります。ユーザーが最終的にUniswap2.0で取引を行うと、0.3%の料金が取引に課されます。この手数料は、提供された流動性に基づき、利益として流動性供給者に支払われます。

ユーザーが流動性を提供すると、実際のトークンはスマートコントラクトを通じて流動性プールに配置され、該当トークンの値に相当するトークンペアがユーザーに提供されます。このトークンは、いつでも初回入金として引き換えることができます。流動性プールのプラス面は、トークンの価値が上がると、提供された流動性の価値も上がることです。このインセンティブモードは、大勢のユーザーがさまざまなペアで流動性を提供することを促進します。特定のペアの流動性が低下した場合、取引を完了するには、他のペアで設定されたスリッページを増やす必要があります。

Quatroネットワークの概要



Quatroは、チェーンネットワークでDeFiを促進できる分散型の金融エコシステムです。オールラウンドな分散型Quatroネットワークエコシステムは、投資家が信頼できる理想的なネットワークです。

Quatroネットワークは、世界中数人の専門家による幅広い調査を行い、作成されました。また、同じチームでDAO組織とDEXTORラボが作成されました。このチームは現在、DeFi 2.0時代の最前線にいます。彼らは、DeFiエコシステムの周りにあるすべての点を接続し、新世代のDeFiプラットフォームを構成することを目的として、Quatroを立ち上げました。

プロジェクトのハイライトは次のとおり：“QUATROエコロジカルプラットフォームは、DeFiエコシステムの統合に専念しており、高性能のブロックチェーンアプリケーションレイヤーのスマートコントラクトを作成し、いくつかのアプリケーションシナリオを組み込むことで、斬新的なデジタルエコノミーを創出し、完全な分散型金融ソリューションセットを構築します。それぞれの機能は分散型取引所、分散型預金/貸借、アグリゲーター/スマートプール、クロスチェーンプロトコル、分散型取得、支払い、アルゴリズムステブルコインとなります。”

QUATROエコロジカルプラットフォームは、7つの主要な構造で構成されています。それぞれが分散型取引所、その中の分散型預金/貸借、アグリゲーター/スマートプール、クロスチェーンプロトコル、分散型取得、支払い、アルゴリズムステーブルコインとなります。

革新的なセキュリティプロトコルにより、プラットフォームは多層暗号化を採用し、取引所が管理する資金を削減し、サイバー犯罪者の目標にならないように控え尽くしました。プラットフォームはユーザーの資産が継続的に保護されることを保証するために、セキュリティチームは横断的なセキュリティシステムを作成し、定期的な監査をしています。

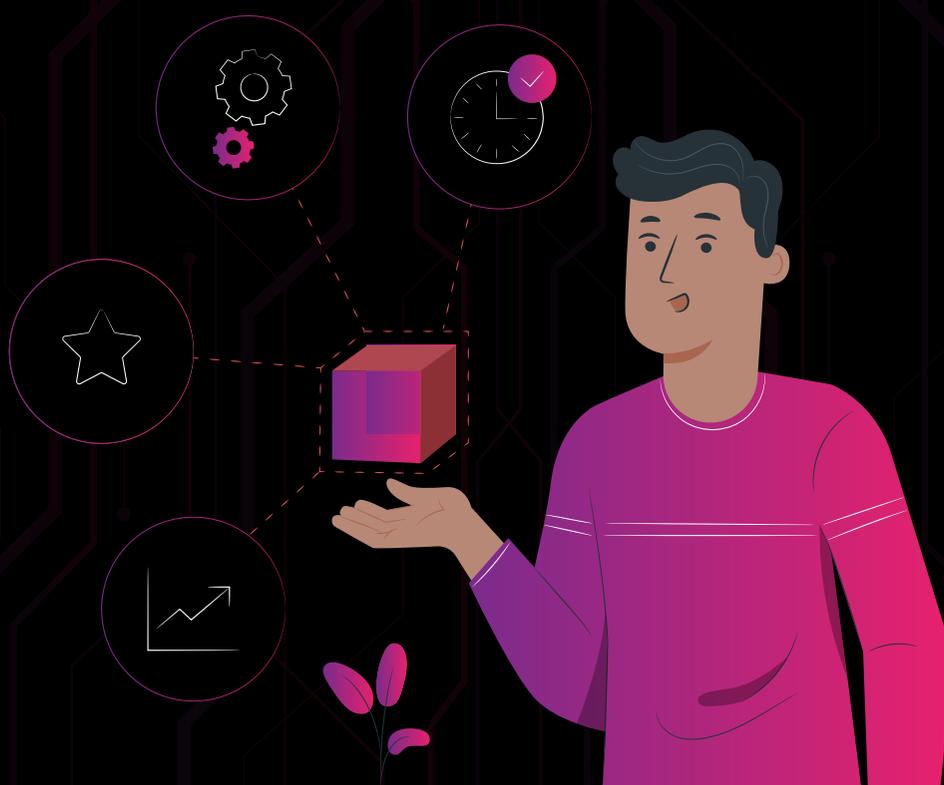
QUATROは、TUBEプロトコルを介してエコシステムに4つのDEX（Tswap、Uswap、Bswap、およびEswap）を作成しました。それぞれのDEXは、さまざまな種類のスマートコントラクトプロトコルを備えており、Quatroネットワークと統合でき、より安価でクロスチェーントランザクションを実行することができます。

Quatro ネットワーク下のプロジェクトはすべて開発段階にあり、特定の専門家チームは関わるスマートコントラクトの処理を担当しています。今後5年以内に、Quatroネットワークは既存のプラットフォームから注目を引き継ぐと考えられます。Quatroネットワークを究極のブロックチェーンユニファイになるように取り組みながら、努めていきます。

業界の概要

過去の数年間で、暗号通貨取引所はユーザーの急増を経験してきました。CEXは毎日何千もの新規ユーザーを記録し、それによって市場価値を高めました。CEXの取引量は常に増加していますが、DEXの取引量も領域内で指数関数的の成長を記録し始めています。

2020年9月、CEXは暗号通貨の総取引量の約95%を占めました。2020年3月まで、利用または認識されているDEX取引所は35をわずかに超えていました。Kyber、Uniswap、Bancorなどのプラットフォームは、集中型取引所に使用される分散型の代替手段と知られています。2019年1月、DEXプラットフォームは世界の取引量の0.11%しか占めておらず、この数は2020年8月以降6%まで急増しました。2020年10月まで、分散型取引所の月間取引量は200億米ドルに達しました。



DEXプラットフォームは、デジタル資産の取引を促進するために多様なアプローチを採用しています。DEXは、仲介組織にトランザクションの実行を依頼する代わりに、自己実行型のスマートコントラクト機能を活用します。DEXは、ユーザーが自分のプライベートキーと暗号通貨資金を引き続きコントロールできるため、非管理フレームワークを採用しました。ほとんどのDEXにはカウンターパーティリスクがありません。つまり、クレジットデフォルトのリスクがなく、KYCまたはAMLプロトコルに従う必要がありません。

DEXは現在、2020年よりも取引人数が多く、UniswapやPancakeswapなどのDEXは、人気のあるCEXよりも取引量が多くなっています。明らかに、DEXは一般大衆からかなり信頼を取得しました。

ただし、ほとんどのDEXが対処していない注目すべき欠点があります。

問題

ユーザー体験

DEXを使い始めたばかりのユーザーにとって、DEX体験はかなり苦しめることもあります。ユーザーはDEX流動性プールの運用原理や意味を完全に理解していないので、ほとんどのユーザーはプールに参加していません。

Uswapのホワイトペーパーは文字から、プラットフォームの形成に使用された基礎テクノロジーについて説明します。これにより、ユーザーは取引を開始する前にコンテンツを事前に理解し、取引を迅速に上達できます。

チェーン上の制限

ブロックチェーンの革新にもかかわらず、業界の主な問題は、異なるブロックチェーンが相互に通信したり、データを共有したりすることができないことです。これはすでに業界の大きな欠陥になっています。たとえば、ETHブロックチェーンは、BTCブロックチェーンまたはTronやBinanceチェーンなどのブロックチェーンと通信できません。 サードパーティの参加がなければ、ローカルマシンのデータを共有してクロストランザクションを実行することはできません。今まで、単一のブロックチェーンプロジェクトでこの問題を解決することはまだありません。

流動性が低い

一部のトレーディングペアは、流動性提供者がその特定のペアに対して流動性を提供しなければ、トレードできなくなります。理由としては、投資家の信頼欠如、不正なトークンプロジェクト、適切な市場戦略の欠如など、多くの要因によって引き起こされる可能性があります。

スケーラビリティ

DEXは現在非常に人気があるので、スケーラビリティの問題に直面していることが考えられます。DEXプラットフォームの創立チームは、プラットフォーム内の取引量が飛躍的に増加することに対して長期計画を用意していない場合があります。結果として、ブレークスルーポイントに達した際に、プラットフォームは取引量による深刻な影響を受けてしまいました。

Uswap（プロジェクト概要）

Uswapは現在、DEXが直面している問題を解決するために開発された革新的なDEXです。Uwapプロトコルは、Quatro Networkのサブ拡張であり、ネットワーク内の他のプロトコルとニューロリンクしています。また、Unihashスマートコントラクトを基礎テクノロジーとして作成され、ユーザーと投資家のニーズに合わせるためDeFiサービスを調整しました。



Uswapプロトコルを使用すると、Dappsウォレットサービスプロバイダーからの暗号トークンを即座に交換できます。KYCや登録プロセスは必要なし、交換を行うための預金も必要ありません。単純な形のスマートコントラクト実行は、Uswap売買プロセスの基盤となります。

Uswapは、安全な流動性プロトコルを使用し、プラットフォーム内の貿易エコシステムに資金を提供します。ユーザーは、いかなる形式の登録もなしで、ウォレットを通じて直接にペアで流動性を提供することができます。

流動性供給者は、Uswapプラットフォームで実行されるトランザクションごとに1%のコミッションが獲得できます。市場で最もインセンティブの高い流動性プールの中の1つとなります。

Uswapチームは、いくつかのペアの流動性マイニングをアクティブにします。これはファームとも呼ばれます。ユーザーはクリックでファームに入れます。Uswapプラットフォームで暗号化されたトークンをステークすることができるし、ユーザーにトークンをマイニングする最も理想的なマイニングオプションも提供されます。流動性マイニングプールでは、投資収益率をtube1トークンで支払われます。利用可能な最初の流動性マイニングペアは、(i) Unihash + Unigram (ii) Unie + unigram (iii) Tube1 + ETHとなります。

Uswapは自動マーケットメーカー（AMM）を採用しています。AMMは関数 $x * y = k$ に基づき、各トークンの利用可能な量（流動性）に基づいて2つのトークンの価格範囲を決定します。一定数のKを維持するために、トークンXの供給が増加すると、それに応じてトークンYの供給が減少します。その逆も同様です。

Uswapプロジェクトの機能

安全性

Unihashスマートコントラクトプロトコルは、市場で最も安全なオープンソースのスマートコントラクトプロトコルの1つとして認定されています。ユーザーが希望する場合は、身元調査と監査を実行して、Uswap機能を使用する際の安全性を確認できます。

ハッキングされる可能性を回避するため、Uswapcチームは複数の暗号化レイヤーを使用してDEXを作成しました。さらに、ユーザーはトークンを交換する前にトークンをプラットフォームに預ける必要がないため、サイバー犯罪者やハッカーに対する誘因が大幅に減少されました。それにもかかわらず、ユーザーは取引を実行する際に安全にご留意しなければなりません。

Unihashスマートコントラクト

Unihashは、マーチャントイネーブラーとして機能するスマートコントラクトプロトコルです。これは、暗号通貨を介してマーチャントシステムと支払いゲートウェイを利用したいプラットフォームの基礎テクノロジーとして機能します。Uniswapトークンの主要なハイライトは、多くのマーチャントとの統合であり、Uswapプロジェクトもプラットフォーム内でこのポイントを利用します。言い換えれば、Uswapプロジェクトはマーチャント-買い手を想定しています。

流動性供給者の高いリターン

流動性を提供するユーザーは、Uniswapを含むほとんどのプラットフォームでわずか0.3%しか与えられません。Uswapでは、流動性供給者が流動性を提供し続けるために、なんと1%のインセンティブを付与します。また、このプロジェクトは完全に自動化されているので、ユーザーはいつでも流動資金を引き出すことができ、対応するスマートリクエストはすぐに受け付けられます。

ユーザーフレンドリーなインターフェース

Uswapは、シンプルなユーザーインターフェースを使用するプラットフォームになります。これは、新しいユーザーがDEXを操作しようとして困難を経験することが多いという事実を考慮に入れました。既存のDEXは、CEXとまったく異なるユーザーインターフェースを使用しているため、大勢のユーザーが慣れなくて使いにくく感じています。Uswap の場合は、ユーザーインターフェースを簡素化にし、新規ユーザーをサポートするための措置も備えています。

教育的

プラットフォームがどのように機能するかを示すために、ユーザー向けの説明コンテンツを用意しました。このドキュメントはその中の1つとなります。また、ウェブサイトの利用方法に関する動画コンテンツの公開、ステーキング方法の説明動画、資金プールやマイニングプールの流動性などの説明も動画で提供します。

クロスチェーンプロトコル

クロスチェーンプロトコルは、Uswapが暗号空間で勝つための秘密武器とも言えます。詳しくはクロスチェーンプロトコルのモジュールで説明されています。クロスチェーンプロトコルにより、プラットフォームは特定のブロックチェーン制限なしでトランザクションが実行できます。これに基づき、ブロックチェーン間に存在するコミュニケーションギャップを埋めました。

イノベーションプール

Uswapは、戦略的な方針に沿って流動性プールを増やし続けていきます。ユーザーは、各プールが完了する前に、チームが行ったパートナーシップと戦略的な動きが見えます。また、トケノミクスの構築にも使用されます。新しいトークンとトークンペアは、Uswapプラットフォームを介して簡単に追加できます。Uswapプロトコルは、検証された戦略的に有利、または投資家に関心を持つトークンを受け入れます。

DESクロスチェーンウォレット

現在、暗号通貨の分散型取引プラットフォームは、トランザクションを完了するためにサードパーティのウォレットにリンクする必要があります。しかし、Uswapは独自のDeFiウォレットが組み込んでおり、D.E.Sによりクロスチェーンサービスが提供されています。つまり、トレーダーは複数の種類のデジタル通貨をD.E.Sに保存できます。例：ユーザーは、ETHまたはBTCの両方をD.E.Sに保存できます。

クロスチェーンモデルは、ブロックチェーン内の異なるチェーン間で通信できない問題を解決するように設計されています。簡単に言えば、異なるメインチェーン間で直接に取引を行うことは不可能でした。しかし、D.E.Sがクロスチェーンテクノロジーを通じて作成したウォレットモデルは、トレーダーがさまざまなデジタル通貨を保存して、複数の種類のデジタル通貨間の取引を可能にすることで、この大きな問題を解決されます。

QBridge CCP

皮肉なことは、ブロックチェーンは世界中のほぼすべての業界と繋がっていますが、ブロックチェーン間の通信はできません。つまり、BTCのブロックチェーンは、ETHのブロックチェーンと情報を通信したり、取得したり、保存したりすることができません。これは、暗号圏に10年以上もわたった問題です。

当社のクロスチェーンテクノロジーは、2つのチェーン間の相互運用性をつくりだしました。クロスチェーンは標準化された方法で構築され、この構造によりブロックチェーン間の相互通信が可能になります。資産の交換と転送はブロックチェーンの世界に重要な部分であるため、クロスチェーンの実装は主にこの2つの部分をベンチマークとしています。クロスチェーンを使用すると、単一チェーンの制限が回避できます。

このクロスチェーンテクノロジーは、QuatroのQbridgeを通じて利用可能になります。Qbridgeは、チェーン間の価値変換と情報の相互作用を実現し、各ブロックチェーン間のブリッジと呼ぶことができます。ユーザーは、暗号資産をUswapラップトークンに変換できます。例：ETHの所持者は、Qbridgeを介してETHをU-Ethereumに交換し、ラップされたU-Ethereumトークンを使用すると、他のブロックチェーンのラップされたトークンとの通信が可能になります。

QbridgeはQuatroエコシステムのブリッジです。エコシステムの作成には、すべてのコンポーネントユニットの相互関係が伴い、Qbridgeは統合機能として機能します。ブロックチェーン全体でデータストレージを有効にするには、Qbridgeクロスチェーンプロトコル内で提供された相乗効果が必要です。この相互コミュニケーションにより、Uswapプロジェクトの使いやすさが向上されます。詳細はQuatroホワイトペーパーの技術に関する内容で述べられます。

トークン情報

Tube1トークンは、UswapDEXのユーティリティトークンです。投資家が収益を受け取る方法として機能します（すべての投資収益はTube1で支払われます）。

Tube1トークンは、流動性プールの主要なペアリングできるトークンとなります。Tube1ペアが優先されますが、流動性を提供するには、他のトークンペアを使用することもできます。

トークン仕様

トークン名称	Tube1
会社	Uswap

トークンの配布

- uswapは毎日300のtube1を生産します
- 300のtube1はすべてイールドファーミングに使用されます
- 54のtube1がUnihash + Unigramプールに配布されます
- 180のtube1がtube1 + ethプールに配布されます
- 36のtube1がunie + unigramプールに配布されます
- 30のtube1がDEQプールに配布されます

Tube1 トークンエコノミー

Uswapビジネスモデルは、自社のDEXプラットフォームと連携したQuatroビジネスモデルを採用しています。Tube1トークンの需要と供給は、内部および外部の要因によって決定されます。内部要因には、取引手数料や流動性の流入が含まれ、その結果、短期および長期でTube1の価値が高まります。これらの外部要因のいくつかには、DEXプロジェクトの人気、基本的な価格の推測などのパラメーターが含まれます。

最大総供給量に達する前に、市場に流動している1%のTube1は買い戻され、破壊されます。これは、流通しているトークンの総数を減らし、最終的に最短時間でTube1トークンの価格が上がります。

流動性プール/ファームは、DEXの流動性の源であり、Uswapが建ち続けているプロジェクトの資金源でもあります。ユーザーと投資家は、SNSで定期的な更新を通じて最新情報が得られます。また、自社及びは他のトークンのリストも引き継いで実行されます。

プロジェクトをUswap DEXにリストされることをご希望のプロジェクトチームは、特定の量のTube1トークンを所持する必要があります。その他の条件は、リストが開始する前にプロジェクトチームに開示されます。

強いパートナーシップは、UswapとTube1トークンの全体的な成長にとって非常に重要です。そのため、コミュニティパートナーシップの戦略については、相談を歓迎しています。

マーケティング戦略

Uswapチームには、プロジェクトの潜在的なユーザーや投資家の注目を集めることを担当するデジタルマーケティングスペシャリストのグループがいます。また、Uswapチームは、宣伝とマーケティングのために高額の予算を用意しています。Uswapチームは、製品が市場の認知なしで世界最高の製品になることに賛成できません。これは明らかにチームとユーザーの利益にはなりません。したがって、チームは下記の確立された市場戦略に厳密に従います。

SNSキャンペーン

SNSキャンペーンを活用して、プラットフォームへの注目を高め、潜在的なユーザーにプロジェクトを届けます。Facebook、Instagram、Youtube、その他のプラットフォームで密着的な宣伝を通じて、大勢なユーザーをプラットフォームに導くことが希望できます。

クリエイティブコンテンツ

SNSでアクティブの状態を保つため、プロのコンテンツクリエイターを採用しています。キャッチーなコンテンツを作成し、ウェブサイトとSNSに定期的にアップロードします。

テレグラムマーケティング

テレグラムマーケティング戦略を使用して、大勢のユーザーをコミュニティに引き付けます。プロジェクト管理者もグループに参加し、ユーザーから全ての質問に答えます。

プレスリリース

より多くの個人ユーザーにリーチするため、ニュースリリースはSNSの投稿と同様に重要です。この方法は、プロジェクトの存在をより正式に発表できます。プレスリリースが始まった後、プロジェクトはユーザーにより真剣に受け取られます。

定期的なイベント

定期的なイベントは、ユーザーがプロジェクトに対する熱意を効果的に維持することができます。Uswapプロジェクトに最大の利益をもたらすために、できるだけ長い間、高いレベルのユーザー熱意を維持する必要があります。

継続的なリスト

チームはより多くのパートナー取引所でTube1トークンをリストすることを努めています。これはDEXに限らず、CEXでも行われます。

結論

この章には、Uswapプロジェクト全体の簡単な要約となります。Uswapプロジェクトは、暗号市場におけるDeFiの既存概念を変えることに専念しています。さまざまなDeFiプラットフォームをサポートするQuatroエコシステムの作成は、将来のプロジェクトの基盤を築き、壮大な目標の一部となります。Uswapプラットフォームを使用して、DEXプラットフォームで発生した問題を効率的に解決できるようにしながら、DeFi 2.0時代のキックスタートを成功させたいと目指しています。

Uswapの開発チームは、UswapとQuatroの開発者で構成されるだけでなく、プロジェクトを精通している技術専門家のグループもおりまして、プロジェクトの開発に絶えずに貢献しています。Uswapプラットフォームは、暗号圏の主要な技術参加者からサポートを受けており、その人数も日々増加しています。

このプラットフォームは、暗号空間の主要な問題を解決しようとしています。この問題はすでに暗号通貨概念の縮図となっています。

暗号テクノロジーは、ホテル、不動産、エネルギー、金融、道路工学など、人間の産業のほぼすべての分野に浸透しています。だが、2つのブロックチェーン間には相互作用ができません。

Uswapプラットフォームは、Q-bridgeを介してブロックチェーン間のブリッジを構築することに取り組んでいます。

Uswapはまた、プラットフォーム内の流動性供給者に高いリターンを提供しています。流動性供給者は、トランザクションごとに1%の手数料が獲得できます。なお、ユーザーが流動性を提供して収益を得る前に、KYCおよびAMLの検証する必要がないことも重要なポイントです。

結論として、ブロックチェーンテクノロジーの未来は2つのグループに委ねられていると言えます。それぞれは、プロジェクトチームと開発者、そしてユーザーと投資家です。この2つのグループは、市場における各プロジェクトの将来を決定し、プロジェクトの共同成長において重要な位置を占めます。どちらも、それぞれの役割を十分に発揮しなければなりません。したがって、Uswapはプラットフォームを成長させる市場戦略を策定し、これら2つのグループを結び付け、ブロックチェーンテクノロジーの未来を共同で構築することを目指しています。